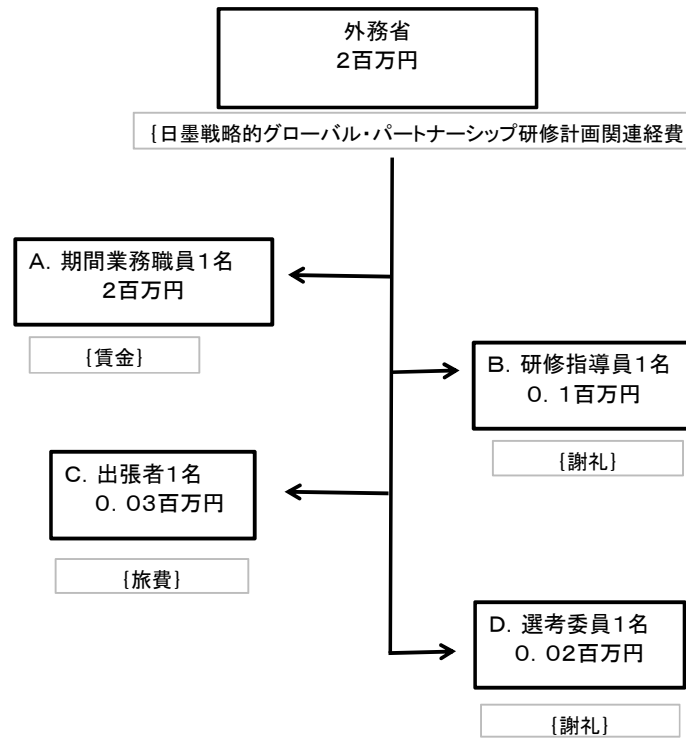


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画関係経費		担当部局庁	中南米局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和46年度		担当課室	中米カリブ課		課長 野口 泰		
会計区分	一般会計		施策名	I-3 中南米地域				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第2号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日墨両国間の研修生の相互派遣を通じて、日墨戦略的グローバル・パートナーシップの強化を図る(2010年2月の日墨首脳間の共同声明において、1971年から実施の日墨交流計画を両国の戦略的グローバル・パートナーシップを強化する方向へと発展させることで合意。)							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本計画を実施するために必要な事務補助員、研修者選考委員謝金、研修者選考試験実施旅費(東京及び京都)及びメキシコにおける日墨交流計画研修生の指導員に支払うために必要な経費。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	2	2	2	2	2	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	2	2	2	2	2	
	執行額		2	2	2			
	執行率(%)		100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	<成果目標> 日墨戦略的グローバル・パートナーシップの強化に資するコースの強化・新設を図ることによる、両国の経済分野を含む人的交流の拡大や質的向上。 <成果実績> メキシコへの進出日系企業数。		成果実績	社	366	399	428	450
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	日墨戦略的グローバル・パートナーシップの強化に資するコースの強化・新設を図る。		活動実績 (当初見込み)	研修生派遣人数(人)	49人 (50人)	40人 (50人)	41人 (50人)	— (50人)
単位当たりコスト	48千円		算出根拠	平成22年度において事業全体に要した経費(2百万円)/平成22年度に派遣された人数(41人)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	賃金		1,927	1,938				
	旅費		43	44				
	謝礼		108	104				
計		2,078	2,086					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大い場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	* 研修生の選考委員等の選出については、競争入札に馴染まなため、専門性、経験等を踏まえ選定し、随意契約としている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	* 最大50名まで研修生の派遣が可能であるが、募集を行い人選した結果、候補者として適切な人材の数が最大枠に満たなかった。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件研修計画は、日墨両国間の研修生の相互派遣を通じて、両国の戦略的グローバル・パートナーシップの強化を図ることを目的としており、両国首脳間で発表された共同声明に掲げられた幅広い分野において、両国間の協力のより一層の促進が期待される優先度の高い事業である。 本件研修計画が、両国の戦略的グローバル・パートナーシップの強化に資するより効果的な事業であり続けるよう、引き続き両国のニーズを踏まえたコースの新設及びコース内容の拡充を図るべく、メキシコ側との調整に努めるとともに、適切な人材（研修生）の派遣に向けて、広報面他の工夫を行っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	期間業務職員A	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	期間業務職員A	期間業務	2	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	研修指導員A	研修指導	0.1	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	国内出張	0.03	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	選考委員A	選考試験委員	0.02	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					